

青森県報

号外第六十一号

平成二十九年
七月十四日
(金曜日)

目次

人事委員会

○平成二十九年青森県職員採用試験(短期大学卒業程度及び高等学校卒業程度) 公告……………(職員誌) ……1

公安委員会

○平成二十九年青森県警察官採用試験(警察官B) 公告…(警務誌) ……4

人事委員会

平成29年度青森県職員採用試験(短期大学卒業程度及び高等学校卒業程度) 公告

平成29年度青森県職員採用試験(短期大学卒業程度及び高等学校卒業程度)を次のとおり実施するので、人事委員会規則6-15(職員の任用に関する規則)第10条の規定により公告する。

平成29年7月14日

青森県人事委員会委員長 熊 地 貴 志

1 試験の種類及び程度

種 類	程 度
職員採用試験(短期大学卒業程度)	短期大学卒業程度

職員採用試験(高等学校卒業程度)

高等学校卒業程度

2 試験職種、採用予定人員及び職務の内容

高等学校卒業程度の採用試験のうち「一般事務」、「教育事務」及び「警察事務」の受験者は、この3職種のうち第3志望まで選択することができるが、これらの職種と「総合土木」、「司書」に同時に申し込むことはできない。

種 類	試験職種	採用予定人員	職 務 の 内 容
職員採用試験 (短期大学卒業程度)	司 書	1人程度	県立図書館において専門的技術的業務に従事する。
	一般事務	5人程度	知事部局の本庁又は出先機関において一般事務に従事する。
	教育事務	22人程度	県立学校若しくは市町村立の小・中学校又は教育行政機関において一般事務に従事する。
職員採用試験 (高等学校卒業程度)	警察事務	6人程度	警察本部又は警察署において一般事務に従事する。
	総合土木	4人程度	知事部局の本庁又は出先機関において専門的技術的業務に従事する。

※市町村立の小・中学校に配属になったときは、当該市町村の職員の身分で勤務することになる。

3 受験資格

(1) 職員採用試験(短期大学卒業程度)

平成29年4月2日から平成30年4月1日までに生まれた者で、活字印刷文による出題に対応できる者で、図書館法第5条第1項の司書の資格を有する者又は平成30年3月31日までに司書の資格を取得する見込みの者

(2) 職員採用試験(高等学校卒業程度)

平成28年4月2日から平成32年4月1日までに生まれた者で、活字印刷文による出題に対応できる者

(3) 次のいずれかに該当する者は受験できない。

- ① 日本の国籍を有しない者(司書を除く。)

- ② 地方公務員法第16条に規定する欠格条項のうち以下に該当する者
 - ア 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ウ 青森県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加人した者

4 試験日、場所及び合格発表

試験	試験日	場 所		合 格 発 表 日	合 格 発 表 方 法
		試験地	試験会場		
第1次試験	9月24日(日)	青森市	青森県立青森工業高等学校	10月6日(金) (予定)	合格者に書面で合格番号、通者番号、各地域に所属する各郡市及び各町民局等の掲示、青森県職員採用システムページの受検番号を掲示する。 (http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/jikanri/sayyou.html)
		弘前市	青森県立弘前中学校		
		八戸市	青森県立八戸工業高等学校		
第2次試験	10月24日(火)～10月27日(金) (予定)	青森市	青森県総合社会教育センター	11月中旬	

注1 災害等により試験の延期等を実施する場合は、青森県職員採用案内ホームページへの掲載等により知らせる。

- 2 第2次試験の試験日は人事委員会が指定する1日又は2日となる。
- 5 試験の種目及び内容

試験種目	職 種	内 容
試験		

第1次試験	全 職 種		解 答 方 式 は、シートにより行う。
	教養試験	専門試験	
適 性 検 査	司 書	書 木	公務員として必要な一般的知識及び知能について、択一式による筆記試験を行う。問題は下記「12 試験の出題分野」の中から出題する。(40題、2時間)
論 文 試 験	司 書	書 木	職務の遂行に必要な識見、判断力、思考力等について記述試験を行う。(1,200字以内、1時間30分) (内容 (論理性・思考力)、表現・国語力等を評価)

第2次試験	適 性 検 査		解 答 方 式 は、シートにより行う。
	文 書	面 接 試 験	
文 書	司 書	書 木	一般的課題により文章による表現力、課題に対する理解力その他の能力について記述試験を行う。(800字以内、1時間) (内容 (論理性・思考力)、表現・国語力等を評価)
面 接 試 験	司 書	書 木	公務員としての適性について、作業検査法による検査を行う。 人物について、グループワーク及び個別面接により試験を行う。 (思考力・表現力、協調性・社会性、使命感・責任感、積極性、課題認識力、経験学習等を評価)

注 第1次試験の適性検査の結果は、第1次試験合格者のみ使用する。

6 配点の基準

試験職種	第1次試験			第2次試験		合計
	教養試験	専門試験	計	面接試験 グループワーク	個別面接	
司 書	40	60	100	50	150	200
一般事務 教育事務 警察事務	100	-	100	50	150	300

取得できなければ採用されない。
採用候補者名簿の有効期間は、原則として名簿が確定した日から1年間である。

10 試験結果の開示

この採用試験の結果は、青森県個人情報保護条例第20条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができる。

開示を希望する場合、受験者本人又はその法定代理人が次表に掲げる書類を持参の上、青森県人事委員会事務局へ直接請求すること。ただし、法定代理人による請求は、受験者が請求時に未成年である場合に限る。

受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

開示請求できる者	開 示 内 容	開 示 期 間	開 示 場 所
第1次試験不合格者	第1次試験の試験種目別得点、総合得点及び順位	第1次試験合格発表表の日から1月間	青森県人事委員会事務局
第2次試験受験者	第1次試験の試験種目別得点、総合得点及び順位、第2次試験の試験種目別得点並びに最終総合得点及び最終順位	最終合格発表表の日から1月間	

〔受験者本人が請求する場合に必要な書類〕
 受験票又は本人であることを証明する書類（運転免許証、学生証、旅券等）
 〔受験者の法定代理人が請求する場合に必要な書類〕
 受験者本人の受験票、法定代理人に係る本人であることを証明する書類（法定代理人自身の運転免許証、旅券等）及び受験者の法定代理人であることを証明する書類（戸籍謄本又は戸籍抄本等）

11 初任給その他の給与

初任給は、短期大学卒業程度の採用試験合格者が158,800円程度（平成29年4月採用の短大新卒者の場合）、高等学校卒業程度の採用試験合格者が146,100円程度（平成29年4月採用の高校新卒者の場合）であり、6月及び12月に期末・勤勉手当が支給されるほか、支給条件に応じて扶養手当、通勤手当、住居手当等が支給される。

12 試験の出題分野

種目	試験職種	出 題 分 野

教養試験	全 職 種	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等
	司 書	生涯学習概論、図書館概論（図書館制度を含む。）、図書館経営論、図書館サービス論、情報サービス論、図書館情報源論、情報資源組織論、児童サービス論
専門試験	総合土木	受験申込時に、「土木」又は「農業土木」のいずれかの出題分野を選択し【土木】 【農業土木】 受験申込時に、「土木」又は「農業土木」のいずれかの出題分野を選択し【土木】 【農業土木】 造学、物理・情報技術力学、土木構設計、測量、社会基盤工学、土木測量、農業土木施工、農業土木設計、基礎（農業と環境、農業情報処理等）等

公安委員会

平成29年度青森県警察官採用試験（警察官B）公告

平成29年度青森県警察官採用試験（警察官B）を次のとおり実施するので、人事委員会規則6-15（職員の任用に関する規則）第10条の規定により公告する。

なお、当該試験の実施に当たって、青森県警察官採用試験（警察官B（男性））第1次試験については、埼玉県警察本部、千葉県人事委員会、神奈川県警察本部、静岡県警察本部及び警視庁と共同で行うものとする。

平成29年7月14日

青森県警察本部長 大塚泰博

1 試験の種類及び程度

種 類	区 分	採用予定日	程 度
	警察官採用試験（警察官B）		
女性			

試験種目	内 容			
	第1次試験	警察官として必要な一般的知識及び知能について、択一式による筆記試験を行う(50題、2時間)。 なお、問題は下記の出題分野から出題する。 【出題分野】 社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等		
適性検査	警察官としての適性について、質問紙法による検査を行う。 一般的課題により文章による表現力、課題に対する理解力その他の能力について記述試験を行う(800字以内、1時間)。 (内容、論理性・思考力、構成・表現、国語力を評価)			
作文試験	警察官に適する人物かどうかについて、集団面接及び個別面接により試験を行う。 (姿勢態度、表現力、判断力、積極性等を評価)			
面接試験	警察官としての適性について、作業検査法による検査を行う。			
適性検査	警察官として職務遂行上必要な体力について次の4種類の検査を行う。			
第2次試験	体力検査 右の基準により、行 に検査を行う。	男性(青森県の場合)	女 性	
		20mシヤトルラン	折返回数が24回以上	折返回数が14回以上
		立幅跳び	180cm以上	128cm以上
		上体起こし	30秒間に15回以上	30秒間に9回以上
		握 力	左右平均41kg以上	左右平均24kg以上
		視 力	両眼とも裸眼視力が0.6以上であること又は矯正視力が1.0以上であること。	
身体検査	視 覚		職務の遂行に支障のないこと。	
	色 覚		職務の遂行に支障のない身体的状態であること。	
その他	その他		職務の遂行に支障のない身体的状態であること。	
	その他		職務の遂行に支障のない身体的状態であること。	
※		上記項目については、医療機関等において検査した身体検査書の提出を求める(検査料は個人負担となる)。		

注 第2次試験の内容、(2)の配点の基準、(3)の資格加点及び(4)の最終合格者の決定

方法は青森県のものであり、志望する都県により異なる場合があるので、詳しくはそれぞれの都県が問合せに応じる。

(2) 配点の基準等

第1次試験	第 2 次 試 験				合 計		
	適性検査	計	作文試験	面接試験			
80	-	80	40	75 (適性) 100 (適性)	適性 (適性) 40 (適性)	適性 (適性) 255	335

注1 表中「適性」とあるのは、合否基準を設定し、その基準を満たす必要があるものである。

2 第2次試験で設定された合否基準のいずれかを満たさない場合には、作文試験は採点されない。

3 体力検査の合否基準では、4種目のうち2種目以上が基準値を満たす必要がある。

4 身体検査の合否基準では、医療機関等において検査した身体検査書により「就業に支障がない」ことが必要である。また、更に各項目(視力・色覚)ごとの基準を満たす必要がある。

(3) 資格加点
次の資格を有し、武道加点を申請する場合は、第1次試験の得点に一定点を加点する。
○ 柔道(講道館認定) 初段以上
○ 剣道(全日本剣道連盟認定) 初段以上

(4) 最終合格者の決定方法
最終合格者は、試験の種目ごとに設定している合否基準を全て満たしている者について、第1次試験及び第2次試験の総合得点による順位で決定する。

6 受験の手続

(1) 試験案内(受験申込書)の入手方法

配布場所 での入手	青森県警察本部受付、県内各警察署、青森県人事委員会事務局、県庁正面受付、県庁北棟受付、県内各地域民局地域農林水産部(鰺ヶ沢庁舎)、青森県東京事務所及び本県の各県外情報センターで入手できる。
--------------	--

郵送での請求	封筒の表に「警察官B試験案内請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号)を同封の上、青森県警察本部試験課に請求することにより取り扱える。便料金が異なる場合があるため、青森県警察本部試験課に確認する。
ダウンロード	青森県警察本部の警察官募集案内のホームページからダウンロードができる。

(2) 受験申込方法及び受付期間

ア 持参又は郵送により申し込む場合

受験申込方法	直接持参	受験申込書には、必要な事項を記入し、必ず顔写真を貼り、また、所定の方法により作成した受験票には、住所・氏名を明記の上、これらを青森県警察本部試験課又は最寄りの県内各警察署に提出する。
	郵送	封筒の表に「警察官B試験申込」と朱書きし、直接持参する場合と同様に作成した受験申込書と受験票を封入し、簡易書留で青森県警察本部試験課に郵送する。
受付期間	7月14日(金)から9月1日(金)まで(ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。) 曜日及び祝日は受け付けない。 受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。 郵送の場合は、9月1日(金)までの消印のあるものに限って受け付ける。	
受験票の交付	受験票は、9月8日(金)に発送する。 9月13日(水)までに到着が確認されない場合は、青森県警察本部試験課が問合せに依る。	

注 申込受付期間終了後の試験地や志望都県などの変更は認めない。

イ インターネットにより申し込む場合

受験申込方法	青森県警察のホームページを経由して、「青森県電子申請・届出システム」にアクセスし、所定の事項を入力する。申請・届出システムにアクセスできない場合は、青森県警察本部試験課が問合せに依る。具体的な手続方法については、青森県警察のホームページで確認できる。
	柔道及び剣道の有段者で加点を申請する場合は、武道段位を証明する書類の写しを郵送又はメール(C251101@mahl-police.pref.aomori.jp)で提出する(試験当日に証明書類の原本を確認する。)

受付期間	7月14日(金) 午前8時30分から8月25日(金) 午後5時15分までの間に、「青森県電子申請・届出システム」で受信したものに限り受け付ける。
受験票等の交付	9月8日(金)に青森県警察のホームページに「受験番号一覧表」、「受験票」及び「写真票」を掲載するので、「第1次試験前日」までにこれらを必ず確認し、所定の方法により、「受験票」及び「写真票」を作成する。

注 申込受付期間終了後の試験地や志望都県などの変更は認めない。

7 採用候補者名簿の作成及び採用の方法

- (1) この試験の最終合格者は、合格した都県の作成する採用候補者名簿に登載され、各県警察本部長又は警視總監からの請求等に応じて同名簿の中から決定される。
- (2) 採用候補者名簿に登載されても、欠員等の状況から採用されない場合もある。
- (3) 採用候補者名簿の有効期間は、原則として名簿が確定した日から1年間である。

8 初任給その他の給与

- (1) 青森県の場合(平成29年4月現在)

初 任 給	手 当 関 係	被 服
高 校 卒 168,400円	6月及び12月に期末・勤勉手当が支給されるほか、支給条件に依りて扶養手当、通勤手当、住居手当、等が支給される。	採用と同時に制服、制帽のほか、靴、ワイシャツ、ネクタイ、防寒衣等が支給される。
短 大 卒 182,300円		

- (2) 青森県以外の都県の給与等については、それぞれの都県で問合せに依る。

9 採用の時期

- (1) 採用の時期は、平成30年4月1日であるが、青森県以外の都県は平成30年4月1日以降となる。
- (2) 採用後は巡査となり、初任教養を受けるため10か月間警察学校(全寮制)に入校する。

なお、警察学校を卒業後は交替に配置され、その後、本人の適性等により、留置係、生活安全係、刑事係、交通係、警備係、機動隊などの業務に従事する。

10 試験結果の開示

青森県の採用試験の結果は、青森県個人情報保護条例第20条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができる。

開示を希望する場合、受験者本人又はその法定代理人が次表に掲げる書類の提示により、青森県警察本部警務課が請求に応じる。ただし、法定代理人による請求は、受験者が請求時に未成年である場合に限る。

受付時間は、平日の午前8時30分から午後5時15分までの間。土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

開示請求できる者	開示内容	開示期間	開示場所
青森県の第1次試験不合格者(青森県のみを志望した者)	第1次試験の得点及び順位	第1次試験合格発表の日から1か月間	青森県警察本部警務課
青森県の第1次試験不合格者(他都県を第2志望とした者)	第1次試験の得点及び順位	3月1日から1か月間	
青森県の第2次試験受験者	第1次試験の得点及び順位、第2次試験の試験種目得点及び最終順位	最終合格発表の日から1か月間	

〔受験者本人が請求する場合に必要な書類〕 書類(運転免許証、学生証、旅券等)
 〔受験者本人が請求する場合に必要な書類〕 書類(運転免許証、学生証、旅券等)
 〔受験者本人の受験票及び法定代理人に係る本人であることを証明する書類(法定代理人自身の運転免許証、旅券等)並びに受験者の法定代理人であることを証明する書類(戸籍謄本又は抄本等)〕

11 昇任

昇任は、公平な昇任試験等により行われ、本人の努力次第で幹部警察官への道が開かれる。

(発行所・発行人)
 青森市長島一丁目一番一号
 青森県

(印刷所・販売人)
 青森市第二問屋町三丁目番七七号
 東奥印刷株式会社

毎週月・水・金曜日発行
 定価小口一枚二付十五円四十四銭